
プログラム

第 1 部 ~ Pops stage ~

- Paradise Has No Border 作曲 NARGO
- 炎 作曲 梶浦由記
- 夜に駆ける 作曲 Ayase
- 銀河鉄道999 作曲 タケカワユキヒデ
- ライオンキングメドレー 編曲 高橋宏樹

第 2 部 ~ Jazz stage ~

- A列車で行こう 作曲 Billy Strayhorn
- Getaway 作曲 Peter Cor、Beloyd Taylor
- Get It On ~黒い炎~ 作曲 Bill Chase
- キャラバンの到着 作曲 Michel Legrand

第 3 部 ~ Classical stage ~

- エールマーチ 作曲 宮下秀樹
- いつも風 巡り会う空 作曲 福島弘和
- 斐伊川に流るるクシナダ姫の涙 作曲 樽屋雅徳

曲 目 紹 介

3rd Stage

★エールマーチ

今年度、全日本吹奏楽コンクール課題曲になっているエールマーチです。この曲は来年のコンクールで初めて取り組む課題曲なので、今日をスタートとして育てていきたいと思います。どうぞお聴きください。

★いつも風 巡り会う空

2008年青森県佐井中学校の委嘱により作曲されました。香川県大会で金賞・最優秀、四国大会で銀賞を頂いた、私たちにとって思い出深い曲です。自分たちで物語を考えて、命を吹き込んだ作品です。その情景が伝わるように精いっぱい演奏します。

★斐伊川に流るるクシナダ姫の涙

古事記上巻に記される出雲神話「ヤマタノオロチ退治神話」より、物語のヒロイン、クシナダ姫にスポットを当て曲を描いています。この神話は、スサノオが暴力をふるったことで高天原から追い出され、下界に降り立ったことにより始まります。その場所が出雲国の肥の河の鳥髪、現在の出雲市を流れる斐伊川の上流でした。川をしばらく歩いていると、老夫婦とその娘クシナダが泣いているのを見つけ、スサノオは声をかけます。訳を聞くと、年に一度村にやってくるヤマタノオロチに、娘七人が既に生贄にされ、最後に残ったクシナダも今から喰われてしまうと言うのです。逆らうことのできない運命に涙を流すクシナダを気の毒に思ったスサノオは、クシナダを妻にもらうことを条件に、ヤマタノオロチの退治を引き受けます。

スサノオはクシナダの姿を隠すため彼女を櫛に変えて自分の髪に挿し、老夫婦には、強い酒を造ること、八つの門を造ること、その門の内側に大きなおけを置き、その酒を注いで入れておくようにと申し付けヤマタノオロチを待ち受けます。その作戦は見事功を奏し、八つの頭を八つのおけに差し入れて飲み干したオロチはすっかり酔っぱらいスサノオに切り刻まれてしまいました。見事ヤマタノオロチ退治に成功しクシナダを妻としたスサノオは、「八雲立つ 出雲八重垣 妻籠みに 八重垣つくる その八重垣を」と喜びの詠を読んだと言われています。

